

「施策」総括票

施策展開	1-(2)-ア	3Rの推進
施策	②未利用資源の活用の推進	
対応する 主な課題	<p>○本県の世界に誇る自然環境を保全することに加え、本県は狭隘な地理的条件にあることから、廃棄物の減量化など環境負荷を軽減する循環型社会を構築する必要があり、県内で発生した廃棄物の有効活用が求められている。</p> <p>○産業廃棄物の排出量については、おおむね横ばいで推移し、再生利用率については全国平均より高水準にあるが、排出量同様横ばいで推移していることから、より一層の循環的利用の取組が必要である。</p>	
関係部等	企画部、農林水産部、土木建築部	

I 主な取組の推進状況 (Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度				
主な取組		決算見込額	推進状況	活動概要
○下水汚泥及び消化ガスの有効利用				
1	下水汚泥有効利用	7,860,093	順調	○那覇、宜野湾、具志川、西原の4浄化センターにおいて、汚泥処理棟築造、消化槽築造、汚泥消化タンク、ガスタンク、脱硫設備など汚泥処理施設の整備を行った。(1、2)
2	消化ガス有効利用	7,402,813	順調	
○水循環利用の推進				
3	再生水の利用促進(水環境創造事業)	76,367	順調	○再生水の供給区域拡大のため、県庁周辺地区の供用を開始するとともに、那覇空港地区への送水管整備を行った(平成26年度供用開始予定)。(3)
4	雨水等の有効利用の促進	30,842	順調	○県内において避難所に指定されている施設での雨水等貯留施設の設置・利用状況調査、東日本大震災時の避難所や住宅等の実態調査(岩手、宮城、福島)及び東京における事例調査等を実施し「雨水導入モデル」を作成した。またあわせて「雨水利用の手引き」を改訂した。(4、5)
5	雨水等の有効利用による災害時生活用水確保促進事業		順調	

様式2(施策)

○バイオマスの活用					
6	オガコ養豚普及促進事業	4,328	順調	○養豚における悪臭対策に優れるほか、効率的にふん尿の再利用ができるセルフクリーニング式オガコ養豚の普及を図るため、オガコの安定供給に向けた調査等を行った。(6)	
7	環境保全型農業支援		順調		

II 成果指標の達成状況 (Do)

(1) 成果指標

1	成果指標名	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
		—	—	—	—	—
	状況説明	—				

(2) 参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
下水汚泥有効利用率	100% (22年度)	100% (24年度)	—	→	78% (22年度)
消化ガス利用率	56% (22年度)	57% (23年度)	61% (24年度)	↗	—
オガコ養豚技術を取得した農家の数	18戸 (24年)	—	—	—	—

Ⅲ 内部要因の分析 (Check)

○下水汚泥及び消化ガスの有効利用

・消化ガス利用率は、那覇浄化センターでは約90%に達しているが、他の3浄化センター(宜野湾、具志川、西原)では有効利用計画が未策定であることから、約20~50%台の低率で推移している状況である。

○水循環利用の推進

・再生水については、供給量を増加させるため平成24年度には県庁周辺地区を供用開始し使用水量が増加したが、小中学校等の利用予定施設の未接続などから、計画水量の約47%の利用にとどまっている。

Ⅳ 外部環境の分析 (Check)

○下水汚泥及び消化ガスの有効利用

・下水道処理人口の増加により、今後も下水汚泥発生量増加が見込まれることから有効利用を進める必要がある。

○水循環利用の推進

・沖縄本島では過去20年近く給水制限を行っていないことから、一般県民の節水や雨水利用等に関する関心は、若い世代を中心に低下していると思われる。

○バイオマスの活用

・オガコ養豚方式の普及促進の取組にあたり、水洗いをしないオガコ養豚方式の導入は、衛生面やオガコ資材の安定利用への不安が養豚農家に根強く、対策が求められる。

Ⅴ 施策の推進戦略案 (Action)

○下水汚泥及び消化ガスの有効利用

・消化ガスの更なる利活用の可能性を検討するため、民間等に消化ガス有効利用に関するアイデア募集を行う。この提案募集等を参考にしながら、消化ガス有効利用計画を策定し、ガス利用率の低い浄化センターにおいて重点的な有効利用を推進する。

・下水汚泥の更なる利活用の可能性を検討し、引き続きコンポスト化(堆肥化)による有効利用率100%を目指す。

○水循環利用の推進

・再生水については、供給区域拡大のため、早期に那覇空港地区への送水管を整備し、平成26年度供用開始を目指す。

・一般県民に雨水の有効活用等について関心をもってもらうため、県企業局、市町村水道局が実施する水道週間イベント及び各ダムで実施されるダム祭り等を活用して、利用用途に応じた雨水処理方法と雨水貯留施設等を解説した「雨水利用の手引き(平成24年度改訂)」を紹介、配布する。

○バイオマスの活用

・衛生面の不安に対しては、実証展示豚舎を設置し、「消石灰混合殺菌オガコ」による方法・効果について農家における検証を行なう。また、現地検討会を開催し、オガコ養豚方式について農家や地域住民への理解を図る。